

この紙面は山田健康センターのホームページ上でもご覧いただけます

山田健康センター 検索



第207回の西式甲田療法勉強会は 10月5日(土) 14:00~ 当店及びプリズムホール で。テーマ「運動実習・6大法則」¥600。体操できる服装でお越しください。断食食はすまし汁断食¥400。 事前にお問合せ、お申込みください。

○続・故甲田光雄生誕100周年……温故知新

甲田先生の診察手法は一風変わっていた。受診された人ならご存じだろうが、聴診器や血圧計など医療道具を殆ど使わず、ご自身の手掌で患者さんの身体をサーチしてその方の生命エネルギーの程度を確認されていたのだった。それはまるで船舶が魚群を探知するソナーやコウモリの感知能力の様でもある。即ち悪い箇所から発せられる信号音を感知され、「腰椎4番が悪いようですね。それと結腸のこの辺に宿便がありこれが問題ですなア。」患者さんがご自身の症状を訴えるまでも無く、原因の大本を指摘されるのでした。受診者が戸惑い驚くのは無理もない。時に「あァ天ぷらをこれほど食べたら…アカン！」見抜かれては言い訳の仕様がな。一体先生の手掌はどれほど敏感なのか？食べたものまでどうして分かる？顔に書いてあったとでもいうの？…不思議でしかない。

それはさておき対処法を教えてもらえるのが患者さんには一番の安心材料で有難い。陰鬱な気分が養生するうえで一番障害であるからだ。希望を感じる事の大切さを再認識。

○まず小グループの仲間づくりを多く

有縁の人達のグループ、少人数からでよいから励ましあい勇気を持てるような場づくりを甲田先生が率先して勧められていた。それに共鳴した仲間たちがそれぞれに会を立上げていった。先頭を切ったのは学校の保健師さん方が「すこやかな子供を育てる勉強会」を、次に各地域で住民の健康に携わる保健婦さん方のグループ。いずれも健康増進、保健を職務とする人達中心で活発に動き始めた。

さらに甲田医院の患者さん方が、一度は入院経験したものの帰宅してからの実践にお

いて四苦八苦する人が多いので互いの情報交換の場として「八尾健康会館（甲田医院の別称）友の会」が旗揚げ。通院者も賛同、入会してたちまち大所帯になった。また、同病の人でしか詳しい情報や悩みを分かち合えないとして、病気別部会が少人数で発足した。肝臓病、腎臓病、糖尿病、リウマチ、ガン、アトピーアレルギー、筋ジストロフィーの子供を抱える親たちの会など。その他、研究実践目的中心で「生食研究会」「宿便研究会」など多彩で賑やかだった。他方素人ばかりの集まりでは無く、医師や大学教師、治療師などが現場の事例や症例を持ち寄って意見交換する研究の場も時々甲田医院で持たれた。さらに主に東洋医学を治療に取り入れようとの意欲ある先生方の全国組織「日本総合医学会」にあっては会頭を務められ、まさに七面八臂の活躍ぶりであった。精一杯理想郷実現へ力の限りを尽くした、疾風の如き人生であった。

○異色は西式自然出産法



出産直後の新生児は40分間裸体で放置され温冷浴後に包む。授乳は2日間させず断食状態。その間は微温湯を口に含ませるだけにしてカニババ（宿便）排泄、黒便が出切って黄土色になるのを確認してから授乳開始。人生のスタート時に中々手荒い洗礼だがその後の健やかな成長ぶりは絶品。これを引き受けようという謹厳実直な助産師さんが現れ、その恩恵で巨大児にならず、夜泣きもせず順調に人生の門出を旅立った子が100数名。甲田先生が終始妊婦さん達を予め指導されたのは言うまでもない。ただ先生のご奮闘の輝きが大きいほど陰は濃くなる。甲田家ご家族のご苦労ぶりがどれほどか偲ばれる。

野良仕事のパンセ……

今夏は残暑が長く続きサツマイモにとっては恵だったのか蔓

の繁茂が旺盛。無秩序に伸び放題の蔓先をめぐりあげ、試し掘りをしようと大汗かきながらスコップで土を掘り起こす。すると、細かい根が株本から1m離れた場所にも伸びてきて隣の畝にまで潜り込んでいる。その旺盛ぶりには脱帽。株本に近づくにつれ中太の根となり、いよいよ大本山ではブッキリ膨らんだ赤紫の芋が姿を現した。その周辺では蛾の幼虫も数匹群がっついて芋の皮を齧っている。多分奴らは小さい姿の頃には細根や中太の根の匂いに誘われ、育つにつれ大本山の芋の所に引き寄せられて来たのだらう。でも人間に掘り起こされれば運の尽き。皮が傷ついた芋に混じって腐った骸の芋もある。土中菌の餌食となったのであろう、アーメン。白い菌糸にまとわりつかれている。ヒトの目に付かない暗い地中では生死を掛けた暗闘が繰り広げられていたのであろう。一部が腐った芋は芯まで腐敗してやがて土にと変容し跡形は消え失せる。そして分解された成分は次の野菜の成長にと貢献する。命の循環だ。中太根や細根だつて葉と切り離されれば同じ運命を辿るのが自然界の掟。さあそれを加速させるため、土中の根群を太陽光に曝し次の種まきに備えよう。なまじ生き残ればか細い発芽根がすくすく伸びるのが妨げられる。

☆ 如是我聞——甲田語録 60

> 瞑眩＝症状即療法 ② <

たとえば、断食直前にしっかり食べていると吐きそうな瞑眩（胃の荒れ）が断食で強く現れ、一方徐々に減らして行えばそれは無くラクにすんなり事が終わるのです。結局、直前の食事の在り方が上手か下手かの違いなのでした。従って玄米クリーム少食などで準備した後に断食、という手順を踏むことが大切だと実感できたのでした。瞑眩は上手な心掛けで回避できるのです。これは少食への道でも同じことです。

般若心経の中でも「転倒夢想を遠離して涅槃を究竟す」とあります通り、今まではこうすれば幸せになれると思っていたのが実は逆さまだと諭されています。つまり瞑眩出たら病気が進んだと早とちりしていたが、実はそれまでの数々の執着から欲を増幅させた結果だと気付かされる。本当はそんないい機会を与えられ逆方向の正しい道に導かれている「症状即療法」なんだと理解できるのです。

ただまあ、症状即療法は間違いないので

すが、程度が酷過ぎれば症状の質的転換が生じて時として命に関わるようにもなる。もうこうなれば症状即治療ですね。結局症状の受止め方にも「弁証法的認識」を忘れてはなりません。(了)

第1回 生菜食5週間トライアル 開催決定！ 山田健康センター、森鍼灸院 共催

2024年10月19日(土)13:00～ 開始前健診（問診と簡単なアンケート）および内容指示<翌20日から実践的健康生活（準備食の後、生菜食法を約30日間と西式運動ほか）を開始。実行記録票に〇×記入して頂きます> なお西式体操や裸療法、温冷浴をご存じない方は10/5の勉強会等にて予習を。

11月23日(祝)13:00～ 終了時健診（アンケート）、記録票提出

定員：15名（体力無い方や重大疾患の方は参加できません） 参加費：両日とも各2,500円

申込締切：10月12日 詳細問合、申込：山田健康センター 担当：山田修

※当センター主催 今期西式甲田健康法勉強会・今後の予定

今期も、昼食に断食メニュー体験を併せて行ないます。1日断食を断行するきっかけになりますので、朝食抜きでどうぞ奮ってご参加下さい。講習会参加費1回600円・断食食400円（自由）事前申込必要。

第208回	11月 9日(土)12:00	少食の実際・試食会と二食主義や断食法	断食食はナン
第209回	12月 7日(土)14:00	出す(排出)こと。宿便は万病を呼び込む	寒天断食

本年度新米仕入れ原価が値上がりしたので、10月から玄米粉や5kg入玄米の販売価格を改定いたします。ご了承の程